



▲巻物を受け取る梁取麻緒さん



▶伝授された巻物

職 親方から弟子へ 人巻物伝達式

11月23日、季の郷湯ら里で梁取板金有限会社の巻物伝達式が行われました。巻物は職人の由来や神事の作法、秘伝、伝授者と授与者などが記されており、親方に弟子入りし技術を習得して一定の年季奉公が終わり一人前になった証として伝授されるものです。

近年では多くの職人巻物がなくなりこのような伝達式が行われる事もほとんど無くなりましたが、梁取板金では今なおこの貴重な伝統が受け継がれています。

只 上位独占 見剣道スポーツ少年団

只見剣道スポーツ少年団が大会で好成績を残しました。結果は次のとおりです。

第48回 南会津郡青少年健全育成柔剣道大会 (11月8日開催)

- 団体戦 小学生低学年の部
優 勝 少年団Aチーム
(菅野慧汰、浅野礼、目黒巧馬)
- 団体戦 小学生高学年の部
優 勝 少年団Bチーム
(目黒拓海、小柴翔天、渡部春輝)
- 準優勝 少年団Cチーム
(馬場菊、馬場遊茶、堀金楓樺)

※団体戦は左から順に(先鋒、中堅、大将)になります。



▲上位を独占した南会津郡青少年健全育成柔剣道大会

第23回 金山町妖精の里剣道大会 (11月9日開催)

- 個人戦 男子高学年の部 (5、6年)
第3位 吉津隼馬・渡部駿
- 個人戦 女子高学年の部 (5、6年)
第1位 馬場遊茶
第2位 馬場 菊
第3位 堀金楓樺
- 団体戦 高学年の部 (5、6年)
第3位 少年団Cチーム
(馬場菊、馬場遊茶、堀金楓樺)

保 育 所 お ゆ う ぎ 会



ももたろう(只見保育所11月20日)



こども白虎隊(朝日保育所11月28日)



かさじぞう(明和保育所11月21日)

「古^{ブナ}センター講座 民家解体から見えてくるもの」11月8日(土)

只見町では空き家が問題になっていますが、富山大学の奥敬一^{ひろかず}氏を講師に迎え、京都丹後半島の民家の特徴と風習、古民家を解体することで明らかとなった建材の樹種について話していただきました。

丹後半島の民家は、空間を広くとり中二階や屋根裏を資材置き場とすることで、冬期に外に出ずに作業ができるよう深雪に対応した工夫がされており、最大の特徴として、ササ^ぶ葺きの屋根で、薪炭林^{しんたんりん}を伐採した後に生えるササや成長した林の林床のササを利用し、ササの刈り取りが薪炭林の管理につながるという合理的な利用方法をとっていました。

古民家の解体は、主に建材の種類に注目し解体され、人の住む部分の材にはマツが多く、次いでクリ、大黒柱など目立つところにはヒノキが使われていることがわかりました。屋根の小屋組みには、クリのほかコシアブラ、シデ、コナラ、マダケ、ホオノキ、サクラ、ネムノキなど様々な樹種が使われており、中には曲がった細い木なども利用^{かみ}されていました。「上世屋^{かみや}(調査地の地名)の民家は里山の若い“雑木林”そのものだった」と奥氏は表現されました。建材の樹種を決めるのは、大工ではなく、木挽き屋であったというのも興味深い話



▲講師を務めた奥先生

です。ほかの地区での調査では、ブナやコナラを使った古民家が発見されたそうです。民家があった土地では、家の建て替えのための用心山としてブナ林を残す風習があったそうで、民家には、建てられた場所の周囲の自然環境が反映されており、只見町の民家はどうかとさらなる興味がわきました。

最後に古民家が人を育てると題して、立命館大学の学生と行ったササ葺きの全面葺き替えの取り組みを紹介していただき、この活動には学生と地域との交流、学生の成長といった効果があったとのことで古民家を題材とした様々な活動の可能性を示されました。

「秋^{猪又}かじ子写真教室 の布沢集落を撮る！」10月26日(日)

柏市在住の写真家 猪又かじ子^{かじこ}さんを講師に迎え、今年も写真教室を開催しました。当日は雲ひとつない秋晴れで紅葉も真っ盛り^{あきばら}の素晴らしい日和。撮影時間の午前中は布沢集落を歩き、気になるポイントがあると先生のアドバイスのもとみなさん真剣な表情で撮影をされていました。また、集落内をのんびり歩きながら畑仕事の方とおしゃべりも楽しく、モデルになって頂いたり、農作物についての話を聞いたり、楽しい時間を過ごすことができました。午後は森



▲真剣に撮影中!

林の分校ふざわの広間で、撮影してきた写真をプロジェクターで映して先生からの講評を頂きました。同じ風景を撮影していても、光の捉え方や角度などが異なりそれぞれ個性のある写真となり大変興味深いものでした。

参加者の皆さんからは、また別の季節にも来てみたいとの声が聞かれ写真教室と只見の美しい秋を満喫していただけたようでした。



▲分校の前で記念撮影